

平成 26 年度地域密着型金融推進状況

【地域密着型金融の取組みについて】

当組合は、地域金融機関として地域密着型金融を最重要課題に掲げ、役職員が一体となって地域の中小・小規模事業者および勤労者の皆様の事業や生活発展を支援することを目的として、フェイス・ツー・フェイスをモットーにお客様一人ひとりと親密化を図り、お客様から寄せられた情報やニーズに対して真摯に金融サービスの提供に取り組んでおります。

金融円滑化法の期限到来後においても当組合の取組方針は変わることはなく、経営改善支援プロジェクトを立ち上げて地域の皆様からの経営相談や経営改善計画に対する支援に取り組んでおります。

また、当組合は、平成 25 年 12 月に公表された『経営者保証に関するガイドライン』の趣旨を遵守した経営者保証に関する取組方針を明確にして、過度な経営者保証に依存しない融資に取り組んでまいります。

【地域密着型金融の取組重点項目】

- (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底
- (3) 持続可能な地域経済への貢献

【項目ごとの取組方針及び進捗状況】

項目	取組方針	進捗状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
① 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化	・日本政策金融公庫との連携、相互補完により、創業や事業資金などのニーズに応え、中小・小規模事業者支援の取組み。 ・高齢化社会を迎えるなか、地域経済を活発にする原動力となる病院等の再生支援に向けた融資取組み。	●中小・小規模事業者に対する資金供給や経営支援を通じて地域経済の活性化に貢献するため、平成26年11月28日日本政策金融公庫と「業務連携、協力に関する覚書」を締結。また、平成27年2月18日より、同公庫と協調した創業支援融資「ドリーム」の取扱を開始しました。26年度末実績プロパー融資及び保証協会融資65件7億7010万円(内創業支援1件300万円)。その中で純新規先に対して29件1億2050万円を取組み、確実に中小・小規模事業者への支援に繋がっています。 ●平成26年度は、病院等再生支援向け融資はありませんでした。
② 経営改善支援の取組強化	・経営改善支援プロジェクトを立ち上げ、経営改善計画実現に向けたサポート。	●融資推進部の支店長経験のある調査役3名が窓口となり、経営改善計画策定先に対して営業店と連携して改善計画実現に向けて業況把握や外部との連携提案を実施しました。

		・金融円滑化法期限到来後も、中小・小規模事業者に対する円滑な資金供給を図るため、積極的な新規融資の取組み。	●また、再生を図る取引先に対して、新規資金手当てを行うD I Pファイナンスとして、26年度2件 8,300 万円を実行し、企業再生支援に取組みました。
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底			
① 担保・保証に過度に依存しない融資の徹底	・平成 25 年 12 月に公表された「経営者保証に関するガイドライン」を踏まえ、お客様と保証契約を締結する場合、また保証人であるお客様がガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合には、本ガイドラインに基づき誠実に対応。 ・法人、個人事業者向けの事業性ローンの積極的推進	●日本政策金融公庫との連携融資により、担保・保証に、必要以上に依存しない無担保運転・設備資金融資に取組みました。 ●「経営者保証に関するガイドライン」に基づく取組方針を営業店に周知し、融資申込があった時にチェック表により適正な保証徴求に取り組んでいます。 ●平成 26 年度の実績 ・139 件 1.7 億円であります。	
② 中小企業に適した資金供給手法の徹底	・債権（売掛金）譲渡担保融資を積極的に取組み、取引先の事業性資金調達の円滑化を図る。 ・新規融資案件の申込に対して、取組方針を早急に回答することで金融の円滑化を進める。	●診療報酬(売掛債権担保)による融資 26 年度実績 7 件 2.6 億円。 ●事前相談制度の活用 - 平成 26 年度の実績 ・受付 215 件 537 億円 ・実行 180 件 427 億円	

3. 持続可能な地域経済への貢献			
	① 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供	・外部機関と連携した地域産業活性化への取組みとして、現在、藤井寺市、藤井寺商工会、また、高石市、高石商工会議所とそれぞれ協定を結び、大阪信用保証協会を含めた地域支援ネットワークにより創業支援や中小・小規模事業者への金融支援の取組み。 ・その他、外部機関との積極的な連携推進。 ・利用者満足度アンケート調査の継続的な実施により、地域の利用者の資金ニーズや金融商品等の要望を集積し、新商品開発を行うことで利用の活性化を図り地域経済貢献への取組み。	●日本政策金融公庫との連携融資及び同公庫と協調した創業支援融資『ドリーム』の取扱いを開始した結果、藤井寺市が取組んでいる創業補助金制度を活用した起業家の創業資金に対し、当組合と公庫の創業支援融資により開業に至りました。 ●現在、新たに松原市、河内長野市、守口・門真市等と地域産業活性化に対する融資を目的とした連携に向けて協議を進めています。 ●第10回利用者満足度アンケート調査を実施しました。 調査期間平成27年2月5日～2月25日、調査先775先、回収765件、回収率98.7%。 利用者から寄せられたアンケート結果に基づいて検証し、今後の業務運営に反映させていきます。
	② 地域のご利用者ニーズに応じた経営資源の投下	・支店長経験のある融資推進専門担当者が営業担当者と同行して、営業店活動地域の中小・小規模事業所に対して計画的に訪問し、集積した情報に基づいた融資提案を行うなど積極的な新規融資推進。	●平成26年度実績 94件57,198万円 特に26年11月の日本政策金融公庫との連携以降は、公庫との連携融資を

		・担保、保証に過度に依存しない融資に取り組むため、財務分析能力向上を目的とした内部・外部研修への積極的な参加。	中心に取り組みました。 ●平成 26 年 11 月より毎月第三水曜日、若手営業担当者 38 名を対象に能力向上を目的とした「スキルアップ研修」を実施。平成 27 年 9 月までに 10 回開催します。融資推進部と審査管理部が中心となって、研修会では、事業所取引推進の基本から、財務分析、事例研究、ロールプレイニング等の研修を行い若手営業の育成を進めています。
4. 態勢の整備			
① 人材の育成	・総務部を主担部とし、全国信用組合中央協会・大阪府信用組合協会等において開催する研修に積極的に職員を派遣。	●大阪府信用組合協会主催の研修会 ・新人職員基本研修会、金融法務研修会(預金)のほか、22 項目の研修に総勢 214 名が参加しました。 ●全国信用組合中央協会主催の研修 ・反社会的勢力対応研究講座、次長講座、内部監査講座、債権管理回収講座のほか、10 項目の研修に総勢 19 名が参加しました。 ●近畿信用組合協会主催の研修会 ・コンプライアンス研修及び営業マネジメント研修に総勢 18 名が参加しました。	

② 外部専門家との連携	・再生企業に対して外部専門家と連携した取組み。	●平成 26 年度実績 1 取引先について中小企業再生支援協議会において企業再生に向けた協議を行っています。 累計 3 先
③ 中央機関・業界団体が有する各種業務・補完機能の活用	・平成 22 年 10 月に創設された「しんくみネット」の活用を進め、地域内の組合員が全国の中小・小規模事業者や地域・業域・職域信用組合の垣根を超えたネットワークでつなげるにより、組合員相互の交流が図られたビジネスチャンスを広げる。 ・大阪府信用組合協会発行の「しんくみビジネスサポート」誌に掲載された企業をはじめとして、取引先企業に対して大阪府信用組合協会主催の「異業種交流会」に参加を促し、ビジネスマッチング等による販路拡大に繋がる側面支援への取組み。	●平成 22 年 10 月以降の活用は組合員のネットワークを構築し、地域内の組合員とともに、全国の中小零細事業者等と地域・業域・職域の組合員がネットワークでつながることにより、組合員相互の交流が生まれ新たなビジネスのチャンスが広がることを期待できますが、今期、成果はありませんでした。 ●平成 26 年 11 月 27 日「第 8 回異業種交流会」を開催、信組 6 組合からの企業が参加し、当組合から 14 社 21 名出席。ビジネスマッチングフェア・セミナー及び自社製品をブースにて出展され、ビジネスマッチングの成果が得られ成功裏に終了しました。